

庄原市における新たな製材工場の稼働開始について

1 要旨・目的

庄原市に整備が進められていた株式会社フォレストワンの製材工場が3月に完成し、4月より稼働を開始した。

2 現状・背景

建材メーカーの(株)ウッドワンの国産材を製材するグループ企業である(株)フォレストワンが、製材から加工まで手掛ける工場整備を目的として、令和4年11月に立地協定を庄原市と締結、昨年8月より工事に着手した。

3 概要

(1) 施設概要等

所在地	庄原市新庄町(県営庄原工業団地内)
原木消費量	スギ・ヒノキ 1.3万m ³ /年
主な整備内容	製材機械、乾燥施設、貯木場等
主な製材品目	床材や内装建材などの高付加価値製品
総投資額	約12億円
事業期間	令和5年8月工事着手、令和6年4月稼働

(2) 補助予算(国庫)

林業・木材産業等競争力強化対策事業(令和5年2月補正予算) : 329,900千円

(3) 事業効果

- ・県内のスギ・ヒノキは利用期を迎えており、今後、庄原市等において生産量の増加が見込まれるヒノキ等の更なる利用促進が図られる。
- ・需要面の効果として、内装など、これまで県産のスギやヒノキがほとんど使われていなかった製品への県産材需要の増加が見込まれる。
- ・流通面の効果として、現在、県外へ流通している県産ヒノキが、県内で加工できるようになることから、流通コストの低減も図られる。